

越谷都市計画道路

3・4・40 新越谷駅北通り線整備事業

事業再評価

1. 事業の概要
2. 整備の目的
3. 進捗状況
4. 事業投資効果
5. まとめ（今後の対応方針）

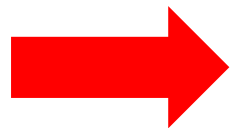


越谷市
建設部 道路建設課

【事業再評価の対象となる事業とは】

越谷市公共事業再評価実施要綱第3条より、
国庫補助事業のうち、以下いずれかに該当するもの

- (1) 事業採択後、5年経過した時点で未着工
- (2) 事業採択後、5年経過した時点で継続中
- (3) 準備・計画段階で5年経過した事業
- (4) 再評価実施後、5年経過した時点で未完了



本件は (4) に該当

(平成16年度事業採択)

(平成30年度再評価実施)

1. 事業の概要

名称	3・4・40 新越谷駅北通り線
事業主体	越谷市
計画決定	昭和62年11月24日
起終点	越谷市南越谷二丁目地内 ～ 新越谷一丁目地内
計画延長 標準幅員	470 m 16 m (2車線)

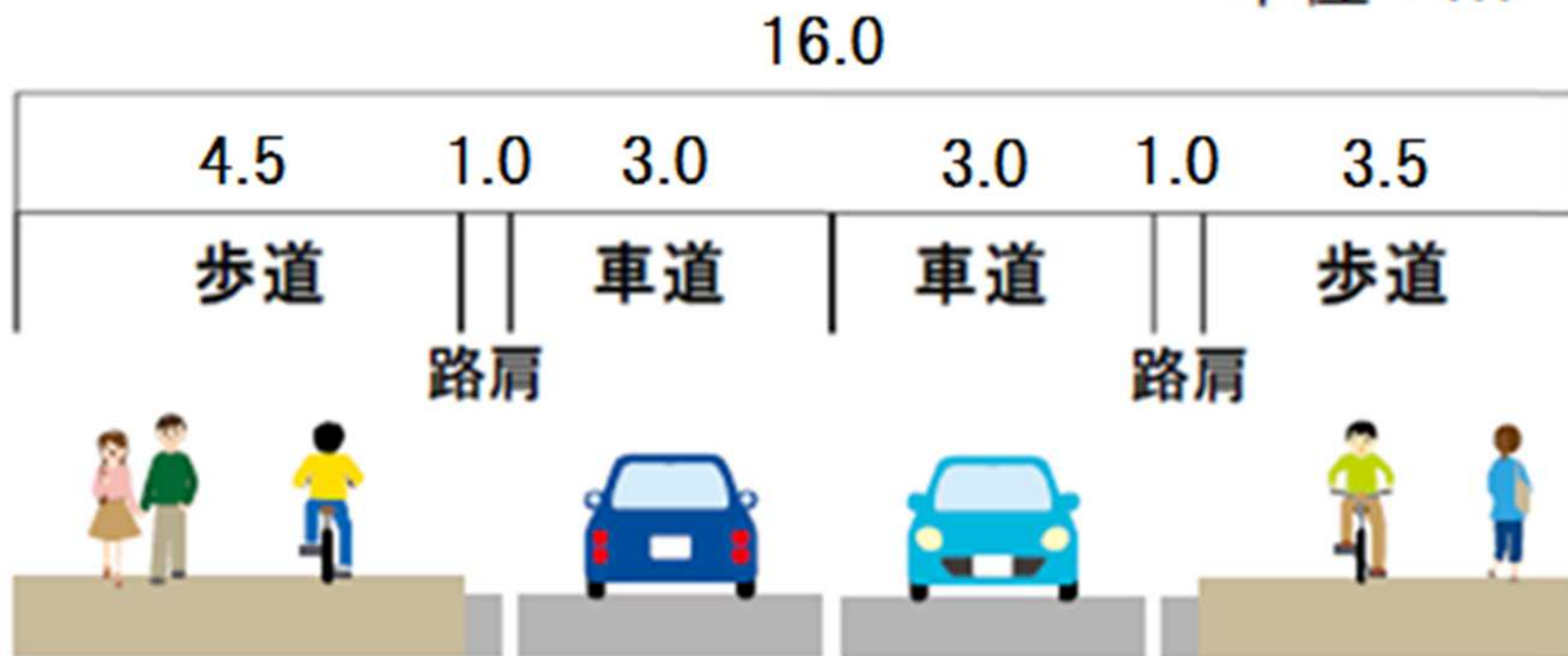
■このうち、現在事業中の区間は以下のとおり

事業箇所	越谷市南越谷四丁目地内 ～ 新越谷一丁目地内
事業延長	439 m
事業認可	平成16年 8月10日 から 令和6年 3月31日 まで

※ (令和11年3月31日まで延伸予定)

【幅員構成（イメージ）】

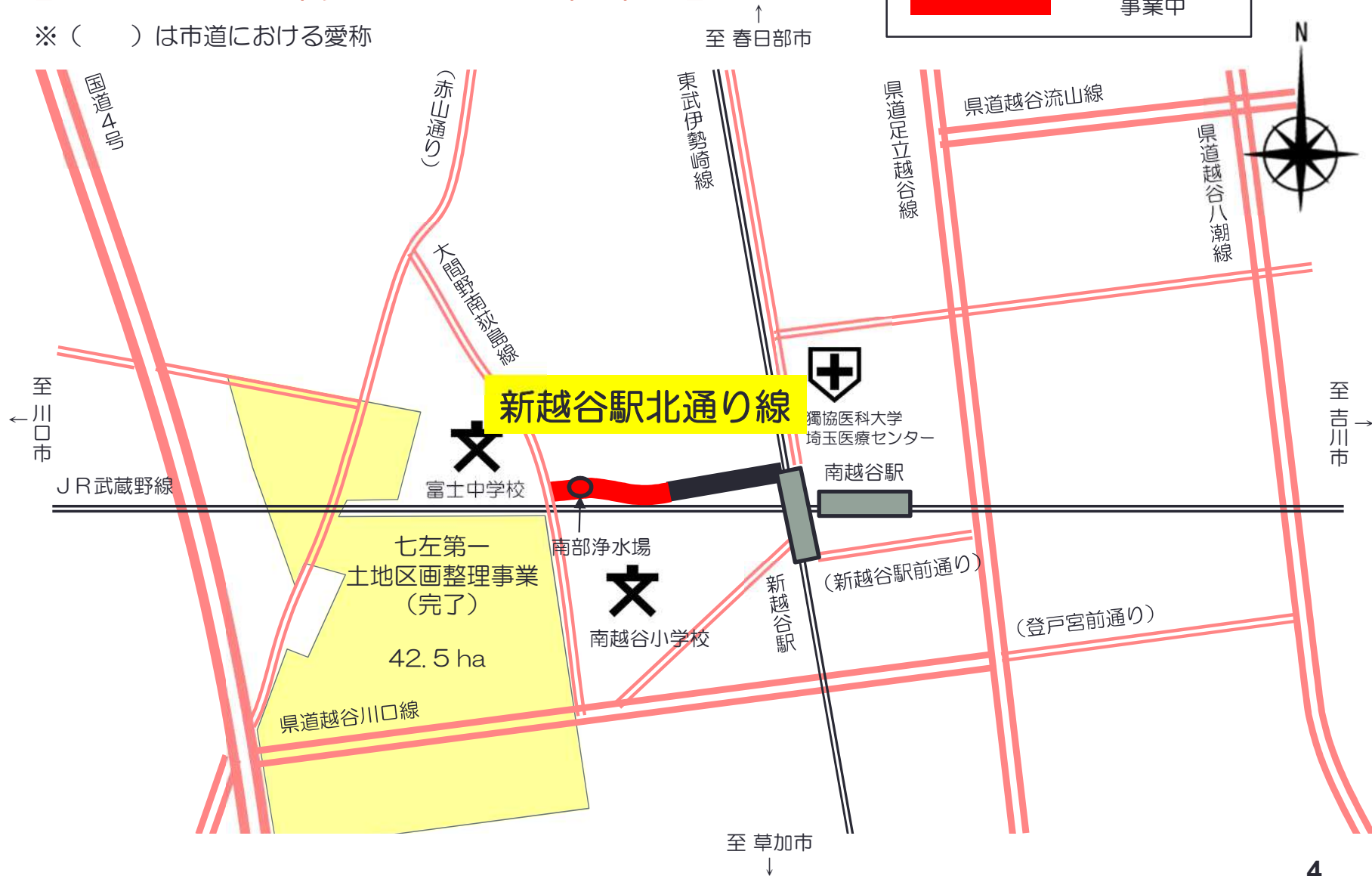
単位：m



【位置図（現況道路網）】

※（ ）は市道における愛称

	完成・供用済
	事業中



【都市計画道路網】



2. 整備の目的

当該路線は、東は都市計画道路南越谷駅北口線における駅前広場に接続し、西は都市計画道路大間野南荻島線と接続する、470mの都市計画道路であり、東西交通の円滑化が図られるとともに、駅周辺へのアクセス向上に大いに寄与する路線です。

近辺では七左第一土地区画整理事業が完了し、車両、歩行者ともに交通量が増加しており、交通処理上の必要性が増しています。

現在、事業中区間439mのうち、約229mの区間について整備が完了し、供用されていますが、残る約210mの未整備区間については、現道もないことから、迂回による時間やコストのロスが生じており、また、生活道路への交通流入による安全上の懸念もございます。

- このようなことから、
- ① 東西交通の円滑化
 - ② 南越谷駅周辺へのアクセス向上
 - ③ 交通安全性の確保

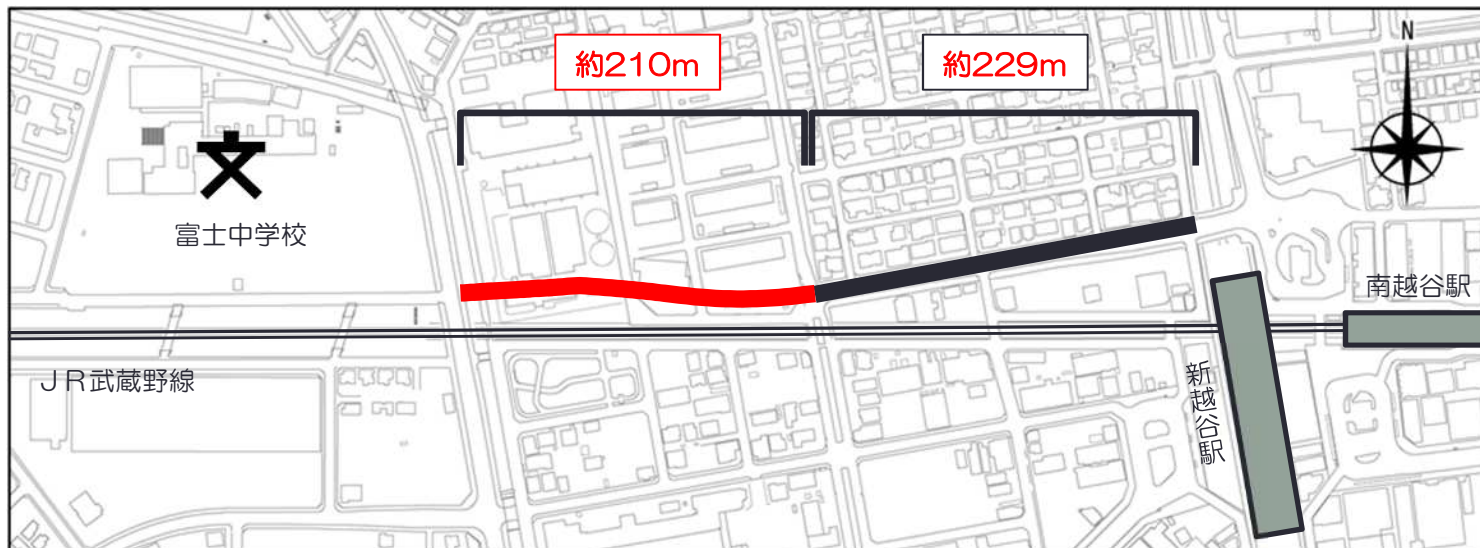
等を図るため、当該路線の早期の全線開通に向け、事業に取り組んでいます。

3. 進捗状況

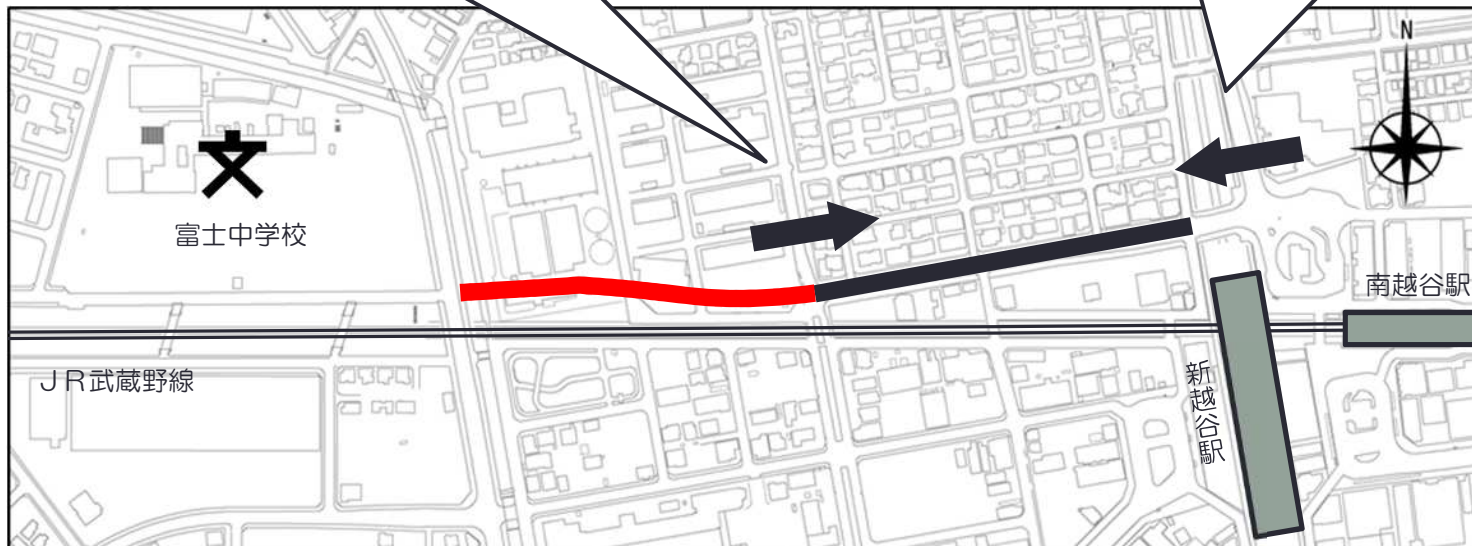
事業進捗率

完成延長ベース 約 52.2% (完成延長 約 229m / 事業延長 439m)

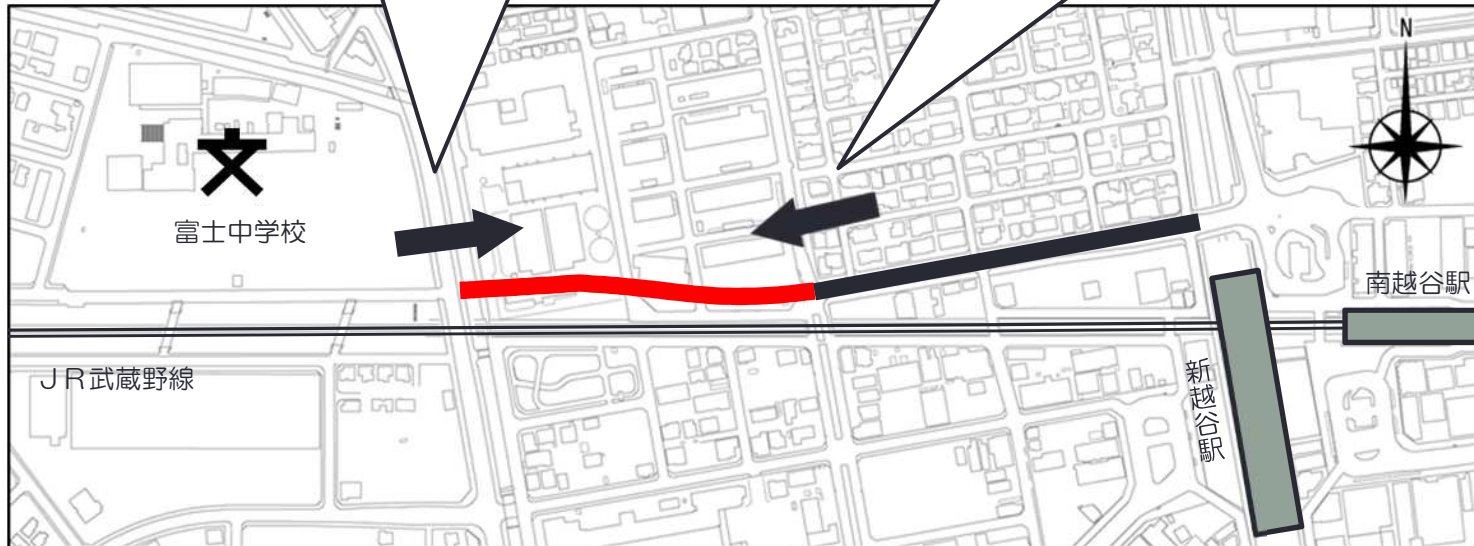
事業費ベース 約 46.4% (これまでの事業費 約 9.1億円 / 総事業費 約 19.6億円)



【完成区間の状況】



【事業中区間の状況】



4. 事業投資効果

【費用便益比（Benefit／Cost）の算定】

$$\begin{array}{l} \text{費用便益比} \\ \text{(B/C)} = \frac{\begin{array}{c} \text{〔道路利用者が享受する便益 (B)〕} \\ \text{走行時間短縮便益} \quad \text{走行経費減少便益} \quad \text{交通事故減少便益} \end{array}}{\begin{array}{c} \text{〔道路整備に伴う費用 (C)〕} \\ \text{工事費} \quad \text{補償費} \quad \text{維持管理費} \end{array}} = \frac{27\text{億円}}{20\text{億円}} \\ = 1.4 \end{array}$$

B/Cが1.0以上であることから、投資に対する十分な事業効果が見込めます。

5. まとめ（今後の対応方針）

- ① 当該道路整備により、市内の東西交通の円滑化が図られ、七左第一土地区画整理事業地内等から南越谷駅周辺へのアクセスが向上する。
また、南越谷駅北口線および大間野南荻島線との接続がなされる等、都市計画道路網としての機能が発揮される。
- ② 当該道路整備により、周辺生活道路への交通流入が減少し、地域の居住環境の快適性および安全性が向上する。
- ③ 費用便益分析の結果、投資に対する事業の効果が十分に見込まれる。



以上のことから、当該路線の全線開通に向けて、事業を継続し、鋭意進めてまいりたい。



ご清聴ありがとうございました。



越谷市
建設部 道路建設課